

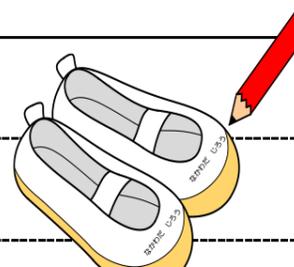
中和田小学校 持ち物スタンダード

○みんながより良く学習できるようにするために、文房具や道具はどんな物がふさわしいのかについて先生たちが考えた全校のきまりが「中和田小学校持ち物スタンダード」です。

よく読んで自分で自分の持ち物をよく確かめましょう。

○また、すべての持ち物に名前を書いておきましょう。

かばん	ランドセルを6年間使います。防犯ブザーをつけておくようにします。もし、こわれてしまった場合(大切に使っていて)は、先生に報告します。 →ランドセル以外の物を使うことになった場合は「両かた・背中にせおうカバン」を使います。
リュックサック	校外学習 両かた・背中にせおえるものにします。(宿泊 行事用の大きなリュックサックも同じです) 遠足など
ノート	くわしくは、裏を見て確認しましょう。 学年の初めに新しいノートを用意します。(学年 初めに、各学級でノートの書き方について先生から説明があります。) 前年度(前の学年)のノートが残った場合は、漢字練習や計算練習など家庭での学習に使います。
筆箱	シンプルな箱形の物を基本とします。 →カンペンケースやチャック式ではないもので、箱型の扉が少ない物を選びましょう。 →シンプルな箱型にすることで、鉛筆が足りているか、しっかり削られているか、学習に関係のない余計な物がないかなど、中身が確認しやすくなります。 また、キャップを付ける必要がないので、落とし物を減らすことができます。(※赤青鉛筆のみ片側にキャップを付ける) 鉛筆 5本(濃さは2B) シャープペンについては、筆圧(書く力)を調節する力を身に付けるため使いません。 (※キャップはしない) 赤青鉛筆1本 カラーペン等は、基本的には持ってきません。(先生から指示があったときのみ持ってきます。) (※片側にキャップをする) 消しゴム 学習用の消しやすいもの(長方形でシンプルなもの) 定規 長さの目盛りが見やすいもの ※折りたたみ式は使いません。 ネームペン ※ふせんについては、指示があった場合に持ってきます。 ※他にも学年で指示があった場合は、それも入れます。
下敷き	必ず使います。無地の物が学習に集中しやすいので、できるだけ無地の物を選びましょう。
道具箱	色鉛筆 12色のもの はさみ サックがついたもの(教室で集めて、必要などに配ります。) セロハンテープ 小型のもの ノート用のり スティックタイプ、または液体タイプ(学年でどちらか指示する場合があります。) 図工用のり つぼのり(低学年のみ) クレパス 4年生まで(高学年は必要なときは先生が伝えます。)
体育着 (体育着袋に入れる。)	体育着 上着はむねに、ズボンはおしりのポケットの位置に、はっきりと名前を書きます。 赤白帽子 →忘れた場合は、必ず先生に相談し、登下校用の黄色い帽子をかぶって学習に参加します。 髪の毛 →髪が肩にかかる場合は必ず飾りのないゴムで結びます。(ヘアピンは使いません。) 気温が高いとき →汗ふきタオルを持ってきます。体育着の下に着る肌着等は、汗をかいたときに着替えられるよう、替えを持ってきます。 気温が低いとき →寒い時のために、トレーナー(金具、ボタン、ひも、フードのついていないもの)と、ジャージのズボンを体育着の上に着てもよいです。 ※寒い時のためのトレーナーやジャージのズボンは、体育用として体育着袋に入れておき、体育が終わったら着替えます。 ※体操着の下に着るための長袖のアンダーシャツやスパッツ等は着ません。→寒いときは、体育着の上に着ることで調節できるようにしましょう。
連絡袋	連絡ノートを入れる袋 B5以上のサイズ チャック式かボタン式 学年によって、学習プリント類を入れるA4ファイル(はさみ込めるもの)を用意します。
給食袋	給食用(手ふき・口ふき用)ハンカチ 1枚 マスク(紙マスクもできるだけ名前を書きます。) 給食帽子
身のまわり	ぞうきん 2枚 1枚は掃除用になります。 } それぞれのぞうきんに、名前の他、 1枚は机ふき用になります。 } 「そうじ」「つくえ」と書いておきます。 防災頭巾 いすの背の部分に取り付けます。ふくろ型カバーを使います。 ヘルメット カバーに入れていすの下に取り付けます。 うわばき 足の甲の部分に、相手から読みやすい向きで、名前を書きます。



※基本的に学習に必要なものは持ってきません。特別な事情がある場合は、担任の先生に相談しましょう。

(例:キーホルダー類、ミサンガ、ピアス、腕輪、ネックレス等)